

京都市における観光流動調査について

1. 調査主体

交通流動推定システムの研究開発チーム（以下、「本調査実施者」と言います）では、京都大学、岐阜大学、宮崎大学、北海道大学、名古屋大学の研究者からなる研究チームで、京都市域における観光流動の把握を目的に、Wi-Fi パケットセンサーやBluetooth センサーを用いた観測調査を実施し、交通流動の把握を通じて、交通問題の解決に向けた研究を実施しています。

2. 調査方法

今回の観測調査（以下、3を参照）では、来訪者がお持ちのスマートフォン等の通信機が発する情報（Wi-Fi パケット、Bluetooth パケット）を受信し、観測機周辺にあるWi-Fi 機能、Bluetooth 機能をオンにした通信機の台数や移動、滞留等を計測するものです。この調査で通信内容が取得されることはありません。また名前・電話番号・メールアドレスなどの個人情報が取得されることはありません。

3. 調査期間と調査箇所

調査期間は2019年11月27日から2019年12月1日までの5日観測を予定しています。調査期間等の変更があった場合は別途お知らせします。観測調査場所は、銀閣寺前、銀閣寺道と清水道のバス停留所、前述の3つのバス停を通過するバスの一部運行便の車内となります。調査にあたり、機器を設置することはなく、バス停留所およびバス車内において利用者の迷惑になるようなことはありません。

4. 観測データとその取扱い（プライバシーポリシー）

（1）来訪者がお持ちのスマートフォンやゲーム機、パソコン等が発するWi-Fi 信号、Bluetooth 信号に含まれる端末情報（MAC アドレス）に匿名化・暗号化処理を行い、個人が特定できない識別情報に変換して計測します。この識別情報を用いて観測機周辺の端末の台数をカウントします。この識別情報を含む信号には、通信内容や名前、電話番号、メールアドレス等の個人情報は一切含まれておらず、記録されたデータから個人が特定されることや、行動追跡が行われることはありません。また通信内容を傍受するものではありません。

（2）観測データの利用範囲と取扱い 1. に記載した「本調査の目的」以外には使用せず、観測された原データは本調査実施者以外の第三者には提供いたしません。データは統計的に解析し、結果については観光流動解析のための基礎データとして利用する他、ホームページ等で公開することがあります。なお本調査実施者が 1. に記載した目的のために、データの解析や調査研究を外部機関に委託することはありますが、1. に記載する目的以外で観測データを使用することはありません。

（3）観測を望まれない場合この調査では、お持ちのスマートフォンやゲーム機等が発するWi-Fi パケットを自動的に計測します。本調査により個人情報の取得や通信内容の傍受が行われることはありませんが、もし本調査による計測を避けられたい場合は、お持ちの機器のWi-Fi 機能をオフにしてください。Wi-Fi 機能をオフにすると、その機器の情報は観測されません。もし観測されたデータの消去を希望される場合は、下記へお問い合わせください。お持ちの機器のMAC アドレスをお聞きし、観測データの中から対応するデータをすべて消去いたします。

【お問合せ先】

観光流動把握を目的とした交通流動推定システムの研究開発チーム

京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 交通情報工学研究室

（連絡先）Jan-Dirk Schmoecker 准教授 075-383-7490

schmoecker@trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp